

2024年度博士フォーラム実施報告

第1分科会（博士フォーラム担当）主査
九州大学大学院工学研究院

渡邊 聡

博士フォーラムとは

● 目的：

- 博士学生の交流の促進、
- 教育改善・改革などへの反映
- **博士学生が中心となって企画**
- 2004年度から八大学持ち回りで毎年実施

2021年度	北大（オンライン）
2022年度	京大（ハイブリッド）
2023年度	阪大（ハイブリッド）
2024年度	九大（ハイブリッド）

● 2024年度博士フォーラム（2024年12月6日，九州大学西新プラザ）

博士戦略会議2024 in Fukuoka～迎る軌跡と切り拓く未来～

現在，日本の博士号取得者は人口100万人当たり120人程度と少なく，さらに主要国の中では日本のみ減少傾向が続いている。最近はこの現状が問題視されつつあり，文部科学省主導のもと，大学院教育の改革や学生への支援強化によって博士学生数を増やそうとする働きかけが行われている。その一方で，研究者の現状に対する世間一般の理解は十分とは言えず，また，博士学生が自身の研究の本質や社会への更献度，さらにはその後のキャリアについて疑念や不安感を抱くことも少なくない。本フォーラムでは，文部科学省の取り組みについて紹介いただいた後，アカデミア，スタートアップ企業，一般企業など様々な分野において最前線でご活躍されている5名の博士号取得者に，これまで歩まれて来た道やこれからの博士への期待についてご講演いただいた。さらに，パネルディスカッションを行い，学生の意見も交えつつ，様々な立場から見た博士の可能性・有用性について議論した。

博士フォーラム2024 プログラム

13:00 開会

13:15~14:00 第一部：基調講演

講演題目：博士人材の活躍促進に向けて

文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室長 高見 暁子 様

14:10~15:50 第二部：博士招待講演（計5名）

共通テーマ：博士が歩んできた道，博士への期待

九州大学大学院工学研究院応用化学部門 教授 星野 友 様

NOVIGO Pharma(株) 代表取締役 石濱 航平 様

Vice President, Customer Experience Group, WHILL Inc. 恩賀 万理恵 様

(一社) Glocal Academy 代表 岡本 尚也 様

(株)日立製作所 基礎研究センタ 技術顧問 兼 日立東大ラボ長 松岡 秀行 様


16:00~16:50 第三部：パネルディスカッション

テーマ：過去に戻ったら，もう一度博士に進学しますか？

パネリスト：星野友様，石濱航平様，恩賀万理恵様，岡本尚也様，松岡秀行様


ファシリテーター：株式会社リバナス人材開発事業部 重永 美由希 様

16:50~17:00 クロージング



八大学工学系連合会
Eight-University Engineering Association

博士フォーラム2024



博士戦略会議2024 in Fukuoka
~辿る軌跡と切り拓く未来~

日時	2024年12月6日（金）13:00~17:00
会場	九州大学西新プラザ（福岡市早良区西新2-16-23）オンライン参加も可

現在、日本の人口100万人当たりの博士号取得者は120人程度となっており、主要国の中では日本のみ減少傾向が続いています。これを受け、文部科学省主導のもと、大学院教育の改革や学生への支援強化によって博士学生数を増やそうとする動きが広がっています。その一方で、研究者の現状に対する世間一般の理解は十分とは言えません。また、博士学生も自身の研究の本質や社会への更なる貢献、その価値観がゆらぎ、博士の活動に戸惑いを感じることもあるのではないでしょうか。更に、アカデミアへのキャリアの不安感が博士の将来の不安感を増大させている様子が伺えます。

本フォーラムでは、はじめに、これからの博士への期待を軸に、博士課程学生の将来に期待し博士育成を推進する立場を代表して、文部科学省の方にご講演頂きます。ついで、アカデミア、スタートアップ企業、一般企業など様々な分野において最前線で活躍されている5名の博士の方に、これまで歩まれて来た道やこれからの博士への期待についてご講演いただきます。パネルディスカッションでは、講演前にパネルリストとしてご登壇いただき、博士学生に必要な経験や今後のキャリアプラン等について、多数も参加できるシステムを整えます。会場全体で「博士の新しい未来」に関して活発に意見交換をします。本フォーラムを通して、博士学生の将来のますますの活躍へのきっかけを願っています。

プログラム（予定）

第一部 基調講演：博士人材の活躍促進に向けて
高見 暁子氏 文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課 人材政策推進室長

第二部 招待講演：博士が歩んできた道、博士への期待
星野 友氏 九州大学大学院工学研究院応用化学部門 教授
石濱 航平氏 NOVIGO Pharma(株) 代表取締役
恩賀 万理恵氏 Vice President, Customer Experience Group, WHILL Inc.
岡本 尚也氏 (一社) Glocal Academy 代表
松岡 秀行氏 (株)日立製作所 基礎研究センタ 技術顧問 兼 日立東大ラボ長

第三部 パネルディスカッション：フアンシテータ 重永美由希氏 (株)リバナス

参加登録はQRコードからお申込みください
・博士後期課程学生に限らず、修士課程・学部生、教職員の皆様もお申込みいただけます。
・受付期間は12月5日までとなります。定員に達し次第、受付を終了いたしますので、ご了承ください。

お問い合わせ [受付時間/月曜日~金曜日9:00~17:00]
九州大学工学部等事務部教務課
TEL: 092-802-2736

博士フォーラム2024 参加者（計108名）

- 学生58名
 - 九大幹事学生13名（対面），協力学生15名（対面）一般学生30名（うち対面13名）
- 教員19名
 - 対面14名，オンライン5名
- 登壇者7名
- 八大学連合会事務局7名，九大事務11名，その他（他大学事務等）11名



第1部：基調講演 高見 暁子氏（文科省）

- 講演題目：博士人材の活躍促進に向けて
- 講演概要



博士課程修了者の多様なキャリアパスの実現を目指した取り組みについて紹介された。特に、博士号は特定の専門分野に限定されるものではなく、例えば国際会議や意思決定の場において、信頼性の証明としての役割を果たせることが強調された。

現在、日本では人口100万人当たりの博士課程修了者数が123人と、先進国の中で下位に位置している。今後、国際競争力を向上させるためには、理系のみならず人文社会系の博士人材を増やすことが重要になる。一方で、博士課程進学を断念する要因として、主に経済的な問題や就職への不安が挙げられている。

これらの課題に対し、文部科学省として、**産業界と大学の連携を強化し、長期ジョブ型インターンシップの活用や公的機関での採用拡大を要請している**ことを紹介された。また、奨学金制度の充実にも力を入れており、**次世代研究者挑戦的研究プログラム（SPRING）採用学生は過去4年間で1.5倍に増加している**。また、**次世代AI研究者やリサーチ・アドミニストレーター（URA）人材の確保**といった新たな体制整備も行っている。

さらに、学生と企業をつなげる具体的な取り組みとして「未来の博士フェス」などのイベントの実施も紹介され、博士課程学生のキャリア支援が広がりを見せていることが紹介された。

第2部：招待講演① 星野 友氏（アカデミア）

- 東京工業大学生命理工学研究科博士課程修了
 - たんぱく質の研究
 - 修士の時には、実験教室の起業なども
- 職歴
 - カリフォルニア大学アーバイン校（3年）
 - 九州大学工学研究院化学工学部門
 - 現在、応用化学部門 教授
- 現在
 - 有機合成技術を駆使し、生体を模倣した高機能材料を開発。
 - 研究室で生まれた技術を基に、株式会社JCCLにおいてCO2の分離・回収技術の実用化にも注力。



九州大学 19

今後求められる人材

問題解決能力・専門性
+
ニーズ・技術を見極める力
折衝・語学力
ネットワーク
契約・会計経験

研究者は一日にして成らず

博士フォーラム2024講演資料より

それぞれ個性を出して、今の研究にこだわらずにどんどん面白ことをやってほしい。

第2部：招待講演② 石濱航平氏（スタートアップ企業）

これまでの歩み

● 九州大学大学院工学府物質創造工学専攻博士課程修了

- 三重螺旋錯体の合成と円偏光発光材料の開発
- 在学中，米国への短期留学・研究留学を経験
- 数々の起業コンテストで受賞
- ドラッグデリバリー技術の開発企業，NOVIGO Pharma株式会社を設立



博士フォーラム2024講演資料より

● 現在

- NOVIGO Pharma株式会社代表取締役社長
- 皮膚に貼るだけで注射剤と同様の投与が可能となる次世代経皮製剤の実用化を推進。

博士で培った課題解決能力が役立ちます！
 博士人材は即戦力！
 ネットワークの構築が大事！



<https://www.novigopharma.co.jp/>

第2部：招待講演③ 恩賀真理恵氏（海外で活躍）

- 東京大学工学系研究科社会基盤学専攻博士課程修了
 - アジア開発銀行、本部マニラにて半年
 - UC Berkely公共政策大学院でも1年間
 - 世界銀行 東・東南アジア地域電力セクター Short-term コンサルタント
- 職歴
 - Google 公共政策部
 - アジア開発銀行 コンサルタント
 - そのほかフリーランス、非常勤講師等
- 現在
 - VP of Customer Experience Group, Mobility Service, WHILL Inc.



技術と社会・人々（や政策）を繋げる！+ご縁

第2部：招待講演④ 岡本尚也氏（グローバルに活躍）

- ケンブリッジ大学物理学博士課程修了
 - 修士は慶應義塾大学理工学研究科
 - その後、オックスフォード大学にて日本学修士号を取得。
- 現在
 - 一般社団法人Glocal Academy理事長
 - 教育支援・コンサルティング事業
 - 執筆活動
 - 社会や学術における諸課題に取り組む個人及び団体を支援。



- About Us 当法人について
- Education 教育支援事業
- Consulting コンサルティング
- Publication & Media 出版物・メディア掲載
- Contact お問い合わせ

博士フォーラム2024講演資料より



What's New お知らせ

- 2025.02.21 第十回高校生国際シンポジウムが無事に終了しました。ご協力頂きました皆様本当にありがとうございました。こちらから報告結果を含めました大会連絡となります。来年度「第十一回高校生国際シンポジウム」は令和8年2月18日、19日に鹿児島市宝山ホールにて行われます。
- 2025.01.17 第十回高校生国際シンポジウムの書類審査の結果を公開いたしました。こちらからご覧ください。昨年を大きく上回る過去最多32の都道府県ならびに台湾から112校、402のお申込みを頂きました。多数のご応募ありがとうございました。見学のみの参加もお待ちしておりますので、教育関係者は学校参加登録から、一般の方々は一参加登録からお申込みください。

20代の自己投資・研鑽は非常に高い価値
 博士号は価値の高いパスポート
 深い専門性の探求 → 課題解決等高度な能力
 博士の取得 → キャリアの可能性が広がる

<https://www.glocal-academy.or.jp/>

第2部：招待講演⑤ 松岡 秀行氏（企業の立場から）

- 東京大学大学院理学系研究科で博士号（理学）取得
 - 修士を終了後，日立へ入社
 - ケンブリッジ大学で客員研究員
 - その後，論文博士として学位を取得
- 現在
 - 日立製作所研究開発グループ技術顧問 兼 日立東大ラボ長

日立製作所および日立返仁会（博士で構成）のご紹介
日立の学位に対する考え方（研究部門では学位は必須），
日立の学位に対する施策（支援制度等），
社員の感想などを紹介いただいた。

博士は研究マネジメントに必要な人材，高職位に必須
課程博士と社会人博士に違いはない



第3部：パネルディスカッション 博士が歩んできた道

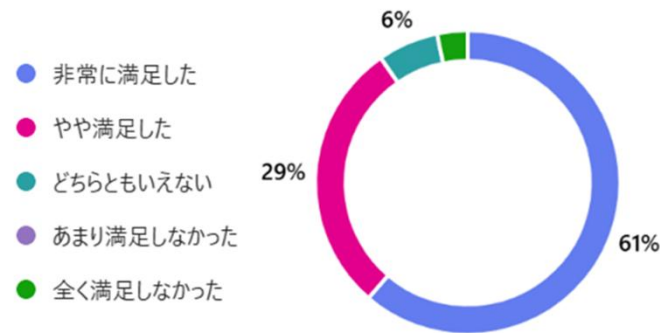
- 過去に戻ったら、もう一度博士に進学しますか？ YES
 - 博士にとってよかったと最初に実感した瞬間
 - 働き出した瞬間。どんな仕事にも博士の経験が生きる
 - 経歴・名刺（研究者としての自信，対等に立てる）
 - 独立性（ただし，生き残るには新しいことを），興味があることをやっている
 - 博士研究への向き合い方，社会に貢献したい？
 - 世の中に役に立てたい，役になったらいいなあ
 - 学問分野を突き詰めたい
 - 多種多様（日本のプレゼンスをあげたい・・・）
 - 博士に後ろ向き？なぜ？
 - 年齢，認知度が低い・・・（学生の心配）

博士は最高峰の学歴である
選んだ道は間違っていない！
自分の武器を，自信をもって！

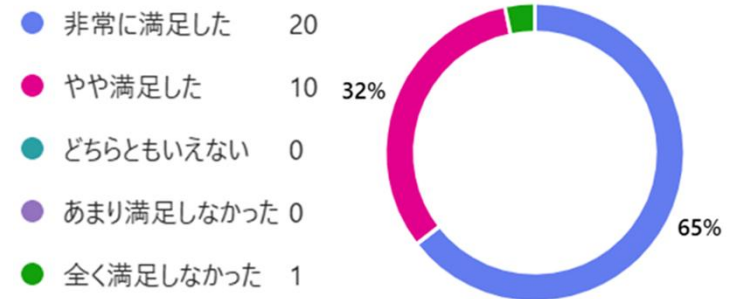


参加者アンケート（一部）

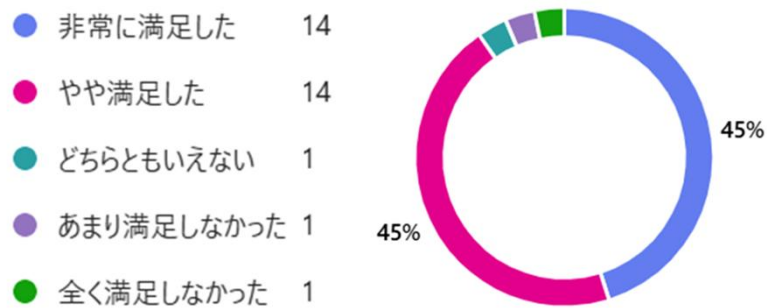
● イベント全体の満足度



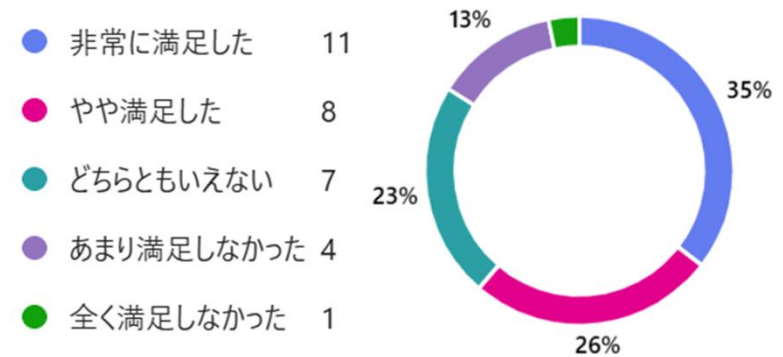
● 招待講演（第2部）の満足度



● 基調講演（第1部）の満足度

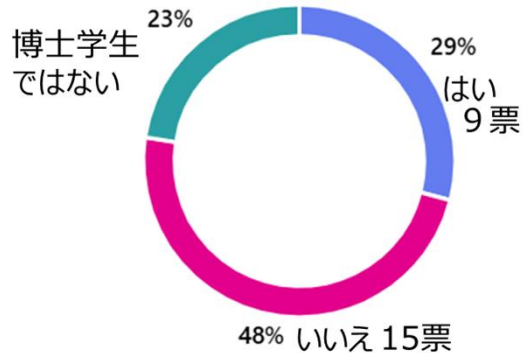


● パネル（第3部）の満足度



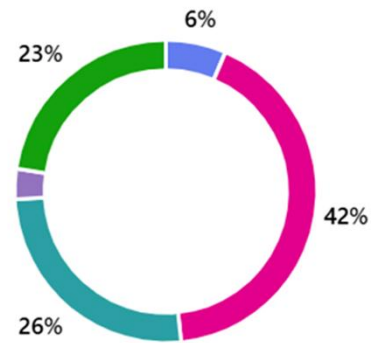
博士課程学生のキャリアに関するアンケート

- 既に明確なキャリアプランをお持ちでしたか？

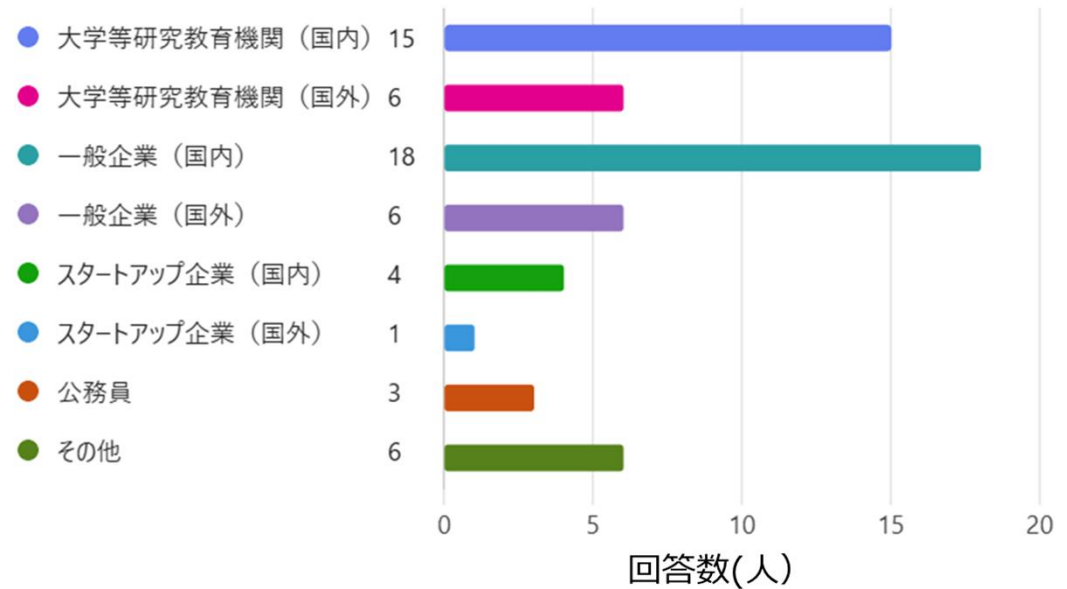


- キャリアプランに対する考え方は変わったか？

- 大きく変わった 2
- やや変わった 13
- あまり変わらなかった 8
- 全く変わらなかった 1
- 博士課程学生ではない 7



- 現在希望している進路



その他のアンケート

- 次回以降の博士フォーラムのテーマに取り上げてほしい内容（自由記述）
 - アカハラの定義
 - "日本の"博士人材が生き残る方法：国内の大学でも留学生の方が博士進学する割合が多い（気がする）中で日本国籍の博士人材が国内外で活躍するにはどういう特色が必要か（例：職人気質，真理を突き詰めるetc.）
 - やりたいこととやらなければいけないことへの時間・労力のかけ方のバランスについて
 - 海外での学位取得について
 - キャリアの形成がうまく出来なかった方，どちらかといえば紆余曲折あった方の経験談。
 - すでに博士に進んでいる学生も多かったので，博士課程の間にしてよかったことなど。
 - 博士論文の研究テーマはどう決めたのか
 - 論文の投稿計画，就活
 - 懇親会に参加しなくても他の学生と交流する機会があると尚うれしいです。
 - 海外ポスドクや国際学会など海外について